厚幌ダム　災害復旧工事について

北海道

○　厚幌ダムは、平成26年10月にダム本体工事に着手し、実際の貯水によってダム本体・各設備・貯水池周辺の安全性を確認する「試験湛水」を平成30年8月13日に終了し、供用を開始したところです。

○　しかしながら、平成30年9月6日、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7（厚真町鹿沼で最大震度7 ）の地震が発生し、厚幌ダム貯水池周囲において、大規模な地すべりや斜面崩落が発生しました。

○　これにより、大量の土砂や倒木がダム貯水池内へ流入し、ダム機能を著しく低下させたことから、災害復旧工事により、流入した土砂や倒木を除去するとともに、地すべり対策や法面対策を実施し、ダム機能の回復を図るものです。

○　なお、厚幌ダムの堤体については、地震発生後に施設点検を実施しており、異常がないことを確認しています。

1. 厚幌ダムの目的

①洪水の調節	：計画高水流量730m^3/s→390m^3/s(ダム地点)
②流水の正常な機能の維持	：既得用水の補給、河川環境の保全等
③かんがい用水	：厚真町に対するかんがい用水の供給。
④水道用水	：厚真町に対する水道用水の供給。

2. 厚幌ダムの諸元

型　式	台形CSGダム
堤　高	47.2 m
堤頂長	516.0 m
堤体積	480,500 m^3

3. 貯水池の諸元

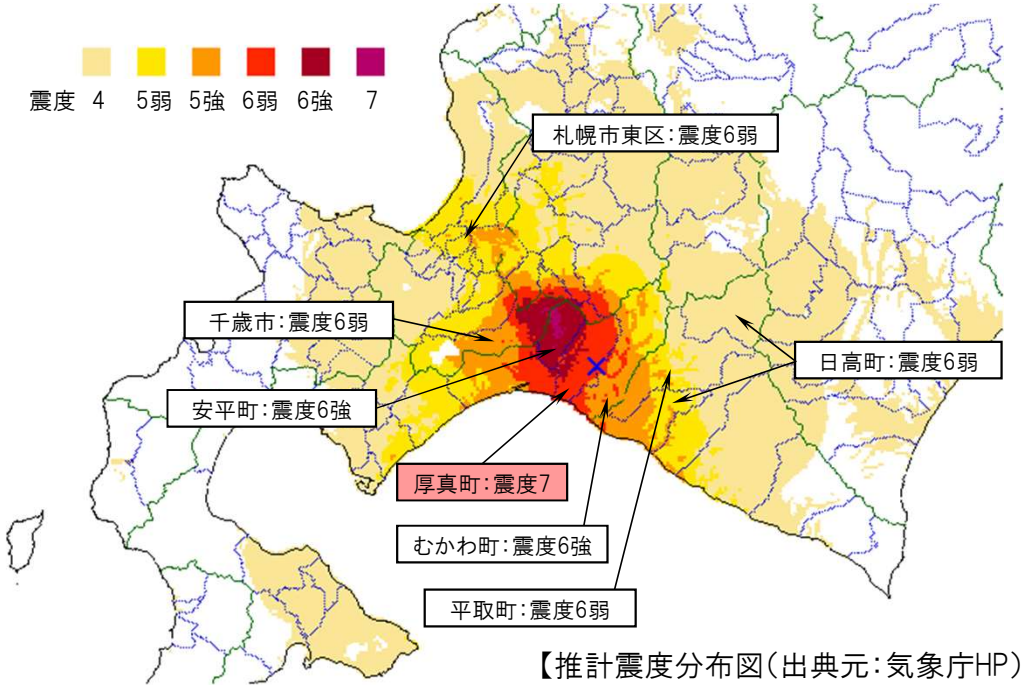
流域面積	105.3 km^2
湛水面積	3.03 km^2
総貯水容量	47,400 千m^3
有効貯水容量	43,100 千m^3

4. 厚幌ダムの経過

昭和 52 年　4 月	予備調査開始
昭和 61 年　4 月	実施計画調査開始
平成　7 年　4 月	ダム建設事業着手
平成 26 年 10 月	厚幌ダム本体工事着手
平成 29 年 10 月　2 日	試験湛水開始
平成 30 年　5 月　7 日	洪水時最高水位到達
平成 30 年　8 月 13 日	最低水位まで低下、試験湛水終了→供用開始
平成 30 年　8 月 15 日	各用水供給に向け水位上昇開始
平成 30 年　9 月　6 日	北海道胆振東部地震により貯水池斜面が被災
平成 31 年　1 月 31 日	災害査定：終了
平成 31 年　3 月 31 日	厚幌建設事業：完了
令和　4 年　3 月 末 日	厚真川（厚幌ダム）災害復旧工事：完了
令和　4 年　4 月　1 日	ダム計画に基づく運用を開始

5. 北海道胆振東部地震の概要

発生日時	平成30年9月6日　3:07	
震源地等	震源地	：胆振地方中東部
	規模	：マグニチュード 6.7
	深さ	：37km
各地震度	震度7	：厚真町
	震度6強	：安平町、むかわ町
	震度6弱	：札幌市東区、千歳市、日高町、平取町



【推計震度分布図（出典元：気象庁HP）】